

10日(土) 全体会プログラム

- 10:00 受付開始 *敬称略
- 10:30 オープニング①子ども・若者からのメッセージ(映像)
 オープニング②合唱 中央区・リエールジュニア
 コーラス 指揮: 杉村慶子
- 10:55 子ども若者実行委員会メンバーによる開会宣言
 開会あいさつ
 増山 均(子ども・若者フォーラム実行委員長)
- 11:10 基調提案
 平本 哲男(NPO法人ワークスコープ常務理事)
- 11:25 リレートーク①「地域をつなぐ子どもの力」
 パネラー 小学生たちと地域先生(ワークスコープ東和わくわくクラブ)
 パネラー 中学生の本音(ワークスコープ国分ほのぼのOG)
 パネラー 地域を紡ぐ子どもたち(ワークスコープ放課後等子どもも)
 パネラー 石巻の中高生(東日本大震災圏域創生NPOセンター)
 コメンテーター 竹森 幸太(ワークスコープ東北復興本部)
 コメンテーター 加藤 彰彦(沖縄大学名誉教授)
 コーディネーター 田中 羊子(日本労働者協同組合連合会(ワークスコープ)専務理事)
- 12:25 昼食休憩
- 13:25 リレートーク②「社会を変える若者の力」
 パネラー 高校生たち(長野県立松川高等学校)
 パネラー 長島 楓(子ども若者実行委員長・たねまきうさぎ)
 パネラー 石川 翔太(子ども若者実行委員会・ワークスコープ)
 パネラー 奥田 愛基(SASPL(秘密保護法反対学生有志の会))
 コメンテーター 川口 加奈(NPO法人HOMEDOOR代表)
 コーディネーター 古村 伸宏(日本労働者協同組合連合会(ワークスコープ)専務理事)
- 14:45 谷川俊太郎氏×子ども若者との対話
 谷川俊太郎(詩人)
 コーディネーター 片岡 輝(詩人、東京家政大学名誉教授)
- 16:15 閉会 1日目のまとめ 藤田 徹
 (NPO法人ワークスコープ代表理事)
- 17:00 交流会 (会費3000円=当日精算)

会場/早稲田大学大隈講堂
 東京都新宿区戸塚町1-104

11日(日) 分科会プログラム

- 9:00 受付開始
- 9:30 分科会開始
- 12:00 昼食休憩 *13:00より子ども若者によるパレードを予定
- 13:30 分科会再開
- 16:00 分科会終了
- *分科会の詳細は裏面を参照してください。

会場/早稲田大学戸山キャンパス



子ども・若者フォーラム 2015

6人に1人が貧困。いじめ・虐待も後を絶たない社会。競争、奪い合い、足の引っ張り合い、更には自己責任と片付けられる現実。
 だからこそ私たちは動き出しました。
 みんなで話し合い、みんなで決めていくことの達成感。仲間や居場所ができた時の安堵感。
 このフォーラムでは私たちの声を届け、未来の「協同と連帯」の社会づくりに向け、一緒に考えたいと思います。



増山 均氏
 子ども白書編集委員長、早稲田大学教授



加藤 彰彦氏
 沖縄大学名誉教授 作家・野本三吉



片岡 輝氏
 東京家政大学名誉教授 詩人



谷川俊太郎氏
 詩人



奥田 愛基氏
 SASPL(秘密保護法反対学生有志の会)



長島 楓氏
 子ども若者実行委員長 たねまきうさぎ



川口 加奈氏
 NPO法人HOMEDOOR 代表



小森美登里氏
 NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事



藤田 徹氏
 NPO法人ワークスコープ代表理事

1月10日(土)

早稲田大学大隈講堂

11日(日)

早稲田大学戸山キャンパス

主催/子ども・若者フォーラム2015実行委員会
 (NPO法人ワークスコープ・日本子どもを守る会編子ども白書編集委員会)

*資料代: 大人(3,000円) 学生(500円)、18歳以下無料

協力/一般社団法人日本社会連帯機構・日本労働者協同組合(ワークスコープ)連合会・一般社団法人協同総合研究所・大田興サークル
 *ワークスコープとは、働く者、市民がみんなを出し、経営し働く協同労働の協同組合です。全国で100ヶ所を超える子育て支援の拠点を中心に、子育ての社会連帯(まちづくり)を広げています。

参加申し込み 2015年1月7日(水)までに、FAXもしくは、申し込みフォーム <http://goo.gl/J2f985> よりお申し込みください。
 [FAX]03-6907-8041 [送付先]NPO法人ワークスコープ 担当: 中村 蔵野

参加申込書	フリガナ			性別	男・女	参加日	1月10日(土) 両日参加 1月11日(日)
	お名前			参加希望分科会	()分科会 <small>*ただし定員を超えてご希望に添えない場合にはご連絡します。</small>		
	所属						
	ご住所	〒					
	お電話	FAX			E-mail		
	料金区分	大人(3,000円) 学生(500円) 18歳以下(無料)		交流会	参加(会費3000円当日精算)・不参加		
	託児希望	有(年齢 性別)・無		*(1歳~未就学のお子さん・定員あり)事前はこちらまでご連絡いたします。			

みんなでこの国の未来を考える
 ~平和・いのち・自由、そして協同の力~

① 子どもの貧困をなくす社会づくりへ



6人に一人が相対的貧困と言われる日本の子どもたち。貧困の連鎖の中で発達に関わる生活環境、栄養、学習、また親による虐待など問題は多岐に及んでいる。貧困は個人や親だけの問題なのだろうか。今の社会の在り方にも問題があるのではないだろうか。学びの格差・孤立・虐待などの問題の解決に向けて社会がどのように変わっていかねばいけぬか。「子どもの貧困」をなくす社会にむけて前半に基調講演、後半はテーマ別に語り合うセッションとしたい。

- ◆コーディネーター
竹森 鉄(ワーカーズコープ)
杉浦 達夫(ワーカーズコープ)
- ◆講演&コメンテーター
加藤 彰彦(早稲田大学名誉教授)
- ◆パネラー
村井 琢哉(山口権衛こどもひろば理事長)
岸田 久恵(学び塾福の足あと代表)
石川 翔太(子ども若者実行委員・ワーカーズコープ西口清博)
- ◆パネラー
木下 史郎(ワーカーズコープ西口清博所長)

② 自分らしく動き出す

★ ~仲間と協同ではたらく・つくる~

学校、社会、様々な場で自分らしくあることを模索している私たち。いじめや排除、生きづらさなどを経験し、閉じこもり、不登校の中から、自分と社会を見つめ直す時間を経て、今、新しい関係づくりや自分を発見し、動き出すところにいる。そもそも若者には可能性があり、様々な新しい動きの可能性が生まれている。そのいくつかを事例としてあげ、若者、保護者、支援に関わる関係者、関心のある人たちが一緒に学び合い、語り合う場をしたい。

- ◆コーディネーター
佐々木 あゆみ(ワーカーズコープ)
阿比留 久美(子ども白書編集委員)
- ◆講演&コメンテーター
川口 加奈(NPO法人HOMEDOOR代表)
- ◆パネラー
岩永 牧人(NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば事務局次長)
島 夢美(東京シューレOG)
世田谷若者サポートステーション
家守 来武(フリースクール立ち上げ検討会)

③ 子どもの学び・暮らし・まちづくり



子ども・若者、そして大人も含めて共に育ちあうためにどのような取り組みが必要とされているだろうか?貧困や格差が広がる中で、子どもたちの教育・生活にも大きく影響を及ぼしている。人と人とのつながりの中で子どもの成長をあたたく見守っていくこと、支え合う事が豊かな人間性を育てていくことに結びついていく。そうした取り組み事例をもとに、地域で生活し、様々な体験や関係性の中で学ぶ子どもや若者とそこにかかわる大人の豊かな実践から学びあう分科会とする。

- ◆コーディネーター
玉木 信博(ワーカーズコープ)
山田 恵子(子ども白書編集委員)
- ◆コメンテーター
宮下 与兵衛(自都大学東京 特任教授)
- ◆パネラー
高橋 信行・太田 美智子(東日本大震災復興NPOセンター)
保原 亮太・千葉 京介(東日本大震災復興NPOセンター)
大村 みさ子(こども村:ネットステーション代表)
浅見 要武(NPO法人カローレ事務局長)
南 銀伊(早稲田大学大学院)
ワーカーズコープ東和わくわくクラブ

④ この国の未来を子ども・若者と考える

★ ~平和・今の社会って?~(しゃべり場)

終身雇用の時代は終わり、正規雇用もほんのひとにぎりという時代。大学に進学しても就職試験に何十社も落ちる経験をし、自分はこの世の中に必要とされていないのではないかと迷い悩む若者が多く生まれた。採用されても長続きせず、夢を描くことをあきらめ、ひきこもったり時には命を絶つ時代。そんな中で、地域の課題を解決するために立ち上がった若者たちが描く社会とは?

- ◆コーディネーター
藤谷 英樹(ワーカーズコープ)
- ◆コーディネーター&コメンテーター
渡部 達也(NPO法人あゆみ・まち・ねと代表)
- ◆パネラー
YEC若者エンパワメント委員会
小林 大悟(NPO法人HOMEDOOR)
前野 学美(チャドかん)
竹森 幸太(ワーカーズコープ西理事務所)

⑤ 困難を抱えた人たちと共に

~共生と協同のまちづくり~

現代社会における生活困難はますます多様で深刻化している。様々な生活困難を抱えた人が地域社会から排除されず、全ての人が生きがいを持って、やりたいことが叶えられ、安心して暮らしていける包摂的な地域社会を創るために、私たち一人ひとりが取り組めることは?障がいがある人もない人も子どもも大人も誰もがともに支え合える働く場や共生型の居場所づくりの実践報告をうけて、参加者で学び合う分科会としたい。

- ◆コーディネーター
佐々木 洋志(ワーカーズコープ)
- ◆講演&コメンテーター
向谷地 生良(北海道医療大学教授、社会福祉法人海州へるるの理事長)
- ◆パネラー
大沢 ゆたか(NPO法人さんきゅうハウス)
ワーカーズコープ・みんなのおうち太白だんだん
森田 真希(NPO法人地域の寄り合い 南太朗月団)
玉田 さとみ(明学院大学 社会福祉学部 社会福祉学専攻 学務主任)

⑥ 共に生きることは

★ ~持続可能な社会を考える~

大量生産・大量消費、大量廃棄の時代。一方で3.11の震災以来、エネルギーや食の地産地消といった本当に大切にすべき「いのちの循環」に目を向け実践している人々がいる。生きることとはつながること。豊かな自然といのちのつながりを感じたり、地域に根ざした伝統文化や人びとと触れながら、人と自然、人と人との共存や多様な生き方を学びあう。

- ◆コーディネーター
高成田 健(ワーカーズコープ)
森本 扶(子ども白書編集委員会副編集長)
- ◆コメンテーター
吉成 信夫(NPO法人若手若こも環境研究所(若と童のつごう)理事長)
石井山 竜平(東北大学大学院准教授)
- ◆パネラー
先生と生徒(長野県松川高等学校)
溝口 義朗(ワックキッズ園長)
長島 昌(子ども若者実行委員、たねまきうさぎ)
小椋 真一(フード/リンク新潟)
仕事のできる子どもたち(ワーカーズコープ・国分ほのぼの)
吉田 智(大樹町教育委員会指導主事)

⑦ 遊びは子どもの主食

★ ~子どもの権利条約を広げ、深める~

子どもの生活から、自由な時間と遊びがなくなりつつある。国連子どもの権利条約第31条は、子どもには気晴らし・遊び・文化の権利があることを明確にした。そして、国連・子どもの権利委員会は2010年、日本政府に、子どもの「遊びの時間」と「自治的活動」のための取り組みを支援することを勧告した。子どもが自由な時間の主人公となって、遊び、仲間をつくってすすめている活動を交流し、子どもの権利をみんなで考えたい。

- ◆コーディネーター
斉藤 史夫(子ども白書編集委員会事務局長)
稲葉 健太(ワーカーズコープ)
- ◆講演&コメンテーター
増山 均(子ども白書編集委員、早稲田大学教授)
- ◆パネラー
荒巻 仁(NPO法人リ(ジャンク)代表)
北島 尚志(NPO法人あそび環境Mus eumアクトフ・バー(元)理事長)
さいたま市大谷快楽団の子どもたち

⑧ 未来を担う子どもたちを育む

~子育て・親育ち~

社会が大きく変化する中、働く親たちの状況、子育ての環境も大きな影響を受けている。子育てをめぐる課題の解決を目指して、2015年度より子ども・子育て支援新制度が施行されるが、すべての子どもの最善の利益のためにどのように制度を活用するべきか?保育をサービスではなく、共に育つパートナーとして子ども・保育者・親・地域が協働している、先進的な実践事例より学び、本当に必要とされる子育て・親育ちの環境づくりについて考えていきたい。

- ◆コーディネーター
大場 寛(ワーカーズコープ)
久保 健太(飯塚保健医療情報専門学校学科学科)
- ◆コメンテーター
新澤 誠治(保育・子どものひろば推進センター・あずの会の代表)
- ◆パネラー
鈴木 真尋(和光保育園園長)
森 すずえ(社会福祉法人アト共同福祉会 社会福祉共同保育所)
青山 誠(ひんごの木)
三井 貴子(ワーカーズコープ・保育園園長)

⑨ いのちを考える

★ ~いじめ・暴力・虐待の克服に向けて~

「いじめ」「暴力」「虐待」、毎日のように耳にする言葉である。子ども達がその対象となり痛ましい事件が続く一方で、これらの事は年齢を問わず若者や高齢者まで広がりが大きな社会問題となっている。この分科会では、午前中にジェントルハートの小森さんの講演をいただき、午後は、若者たちによるいじめや暴力、虐待克服に向けて発言と共に、いのちについて考えあう。

- ◆コーディネーター
小白井 加代子(ワーカーズコープ)
成田 弘子(白梅学園大学教授)
- ◆講演&コメンテーター
小森 美登里(NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)
- ◆パネラー
山城 俊一(ワーカーズコープ・上田事務所)
味岡 舞(東京シューレOB)
本田 真隆(東京シューレOB)

⑩ 文化を生み出す子ども・若者

★ ~子ども若者からの発信~

いつの時代にあっても子ども・若者は、大人があてがう文化の受身の享受者であると同時に、与えられる文化に抵抗する対抗文化や裏文化を細々ながら生み出す主体的な存在だった。現代にあってもマスメディアと商業主義とのコラボレーションによる大量消費型の文化と文化財が子ども・若者市場を席巻する一方で、その猛威を強い潜り、逆手に取ったり、利用したりして子ども・若者たちが自分たちの文化を生み出すとする動きも盛んである。子ども・若者にとっては正当性や権威など目ではなく、何かを表現したいというフツフツと湧き出るエネルギーから新しい文化や文明が誕生することは歴史が証明している。このセッションは新しい文化のインキュベーター(ふ卵器)/インスタレーション(装置)として、語り合いの広場と創造の広場を展開したい。

A:語り合いの広場

- ◆コーディネーター
星平 順子(ワーカーズコープ)
- ◆コメンテーター
片岡 輝(東京家政大学名誉教授、詩人)
- ◆パネラー
吉成 慧恵(Stockholms dramatiska högskolan)
江田伸男と若者たち(秋文ユネスコ協会)
多摩大学日本大好きプロジェクト
古賀 直子(ワーカーズコープ)

B:創造の広場

- ◆コーディネーター
森田 浩章(東京家政大学准教授)
島本 一男(インターハート人間教育研究会)
- ◆えほんづくり
なかむらしんいちろうと学生(日本児童教育専門学校講師)
- ◆ダンス
ワーカーズコープの若者たち
- ◆ものづくり
東京家政大学の学生
- ◆人形劇
法政大学の学生



⑪ 子どもの人権と人間らしく生きられる社会

~映画「60万回のトライ」を切り口にして~

孤立・分断、競争至上主義、格差社会の進行。大人社会のひずみの犠牲は常に子どもの未来を閉ざしている。そんな社会状況の中で制作された、大阪朝鮮高校ラグビー部の戦いと社会の現実との葛藤を描いたドキュメンタリー映画「60万回のトライ」の上映と合わせて、パネラーからの問題意識も出し合いながら、子どもの人権と誰もが人間らしく生きられる社会をどうやって作っていくかを、参加者全員で議論しあう分科会としたい。

- ◆コーディネーター
成田 誠(ワーカーズコープ)
- ◆コメンテーター
上平 泰博(一般社団法人協同総合研究所専務理事)
- ◆パネラー
金 侖貴(西都大学東京 准教授)
朴 敦史(映画「60万回のトライ」監督)